MD1230 Family

バージョンアップ手順書

（Ver. 5.0 – 8.0 用）

アンリツ株式会社

目次:

1. はじめに 3
2. MD1230A/30B/31A/31A1 バージョンアップ手順 4
2.1. 必要なもの 4
2.2. 本体動作モードの確認と変更 4
2.3. インストーラのコピー 5
2.4. インストール 6
2.5. ファームウェアの更新 9
2.6. アプリケーショントラフィックモニタオプションの設定 10
3. MX123001A バージョンアップ手順 12
3.1. 必要なもの 12
3.2. インストール 12
4. MT7407A バージョンアップ手順 16
4.1. 必要なもの 16
4.2. インストール 16
5. インストールの確認 18
5.1. Unit への接続手順 19
5.2. インストールに問題がある場合 19
6. バージョンダウン・アンインストールについて 21
6.1. アンインストール 21
7. Sniffer Technologies オプションについての注意事項 23
8. Q&A 24

1. はじめに

MD1230 ファミリ ソフトウェアは、以下のプラットフォームまたはソフトウェアに対応した、MD1230 ファミリの機能を実行するソフトウェアです。

対応するプラットフォーム・ソフトウェア

型名	品名
MD1230A	データクオリティアナライザ
MD1230B	データクオリティアナライザ
MD1231A	IP ネットワーク アナライザ
MD1231A1	IP ネットワーク アナライザ
MT7407A	マルチスロットシャーシ
MX123001A	データクオリティアナライザコントロールソフトウェア

この文書では MD1230 ファミリ ソフトウェアをインストール、またはバージョンアップする手順について説明します。ソフトウェアの変更点についてはリリースノートを、機能についての説明は取扱説明書を参照してください。

インストール・バージョンアップの手順は、インストール先のプラットフォームによって次のように異なります。

MD1230A/30B/31A/31A1 の場合	2章の「MD1230A/30B/31A/31A1 バージョンアップ手順」をお読みください。
MX123001A の場合	3章の「MX123001A バージョンアップ手順」をお読みください。
MT7407A の場合	4章の「MT7407A バージョンアップ手順」をお読みください。
Sniffer Technologies オプション機能（デコードモジュール）をご使用のお客様	7章の「Sniffer Technologies オプションについての注意事項」をお読みください。
バージョンダウンを行う場合	6章の「バージョンダウン・アンインストールについて」をお読みください。

2. MD1230A/30B/31A/31A1 バージョンアップ手順

ここでは MD1230A、MD1230B、MD1231A、MD1231A1 の本体のソフトウェアを Ver.5.0 ～ 8.0 にバージョンアップする手順について説明します。この手順を行った場合は、後述の「インストールの確認」でインストールとファームウェアの更新が正常に行われていることを確認してください。

2.1. 必要なもの

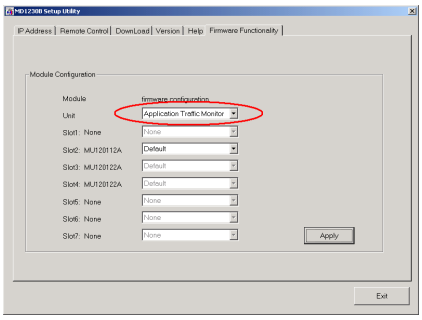
作業を行う前に次のものを用意します。

用意するもの	説明
MD1230/MP1590 Family Control Software CD-ROM	インストーラ、リリースノート、バージョンアップ手順書（本書）が収められています。
Product Key	CD-ROM のラベルに記載された 24 桁の数字です。ソフトウェアをインストールする際に入力が必要です。
MD1230A/30B/31A/31A1	バージョンアップ対象の本体です。
マウス、キーボード	MD1230A/30B/31A/31A1 本体に接続し、インストーラの操作やプロダクトキーの入力などに使用します。
CD-ROMドライブが使用できるPCなど	インストーラを本体内蔵 PC のハードディスクにコピーする手段（イーサネットケーブルや USB メモリなど）が必要です。詳細については後述の「インストーラのコピー」を参照して下さい。

2.2. 本体動作モードの確認と変更

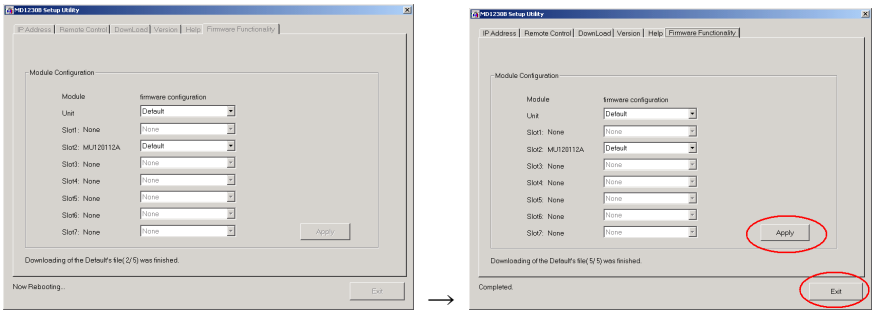
バージョンアップを行う前に本体を Default モードにしておく必要があります。以下の手順で本体を Default モードに設定してください。

1. Selector 画面で Setup Utility を選択し、Firmware Functionality タブをクリックします。Unit の部分が「Default」でない場合は「Default」に変更し、Apply ボタンを押します（既に「Default」となっている場合はなにもする必要はありません。）



2. Default モードへの変更処理は 10～20 分程度かかります（時間は装置状態により

異なります）。処理が終了すると Apply ボタンと Exit ボタンが有効になります。



2.3. インストーラのコピー

CD-ROM 中のインストーラを本体内蔵のハードディスク上の適当な場所（例：デスクトップ上）にコピーします。インストーラは本体の種類により異なります。

インストールする本体	インストーラファイル名
MD1230A, MD1231A, MD1231A1	MD1230A_31A_31A1-X.XX.XX.exe
MD1230B	MD1230B-X.XX.XX.exe

MD1230A/31A/31A1 には Windows 98、MD1230B には Windows XP が内蔵されており、USB インタフェース・Ethernet インタフェースを搭載しています。このため、通常の PC と同様に USB メモリやネットワーク接続によりファイルをコピーすることができます。

注意：MD1230A/31A/31A1 で USB メモリを使用する場合は、使用する USB メモリのドライバを事前にインストールする必要があります。

注意：MD1231A/31A1 には FDD が搭載されていません。このため、多くの場合 USB メモリのドライバをインストールするために、ネットワーク接続によるファイル転送を行う必要があります。

ネットワーク接続によるファイル転送を行う場合は次のようにします。

1. MD1230A/30B/31A/31A1 のハードディスク中の適当なフォルダを共有フォルダにします。
2. MD1230A/30B/31A/31A1 上でネットワークの設定を行います。
   - ”Network Neighborhood”アイコンを右クリックし、プロパティを開きます。

- "Identification"タグをクリックし、"Workgroup"を PC と同じにします。
- 「Configuration」タブをクリックしネットワーク構成の中から TCP/IP を選択し、"プロパティ"ボタンをクリックします。
- 「IP アドレス」タブをクリックし、IP アドレス、サブネットマスクを設定します。この時、ネットワークアドレスを PC と同じにします。例： PC の IP アドレスが 192.168.0.1 、ネットマスクが 255.255.255.0 の場合、MD1230A/30B/31A/31A1 の IP アドレスは 192.168.0.10、ネットマスクは 255.255.255.0 のようにします。（ の部分を PC と同じにします）

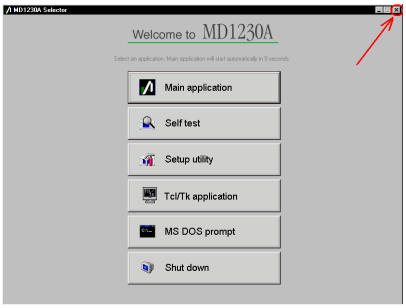
3. PC と MD1230A/30B/31A/31A1 をイーサーネットケーブルで接続します。
4. PC の「コンピュータの検索」画面にて MD1230A/30B/31A/31A1 の IP アドレスを入力し、検索します。
5. 転送に必要なファイルを PC から MD1230A/30B/31A/31A1 にコピーします。

注意：ネットワーク接続のために変更した IP アドレスの設定は、ファイル転送が終わったら必ず元に戻してください（または Unit の IP アドレスを Window の IP アドレスに合わせて適当な値に変更してください）。

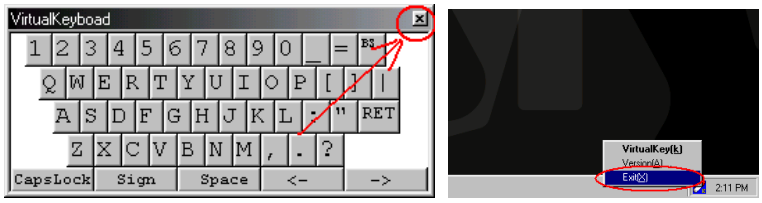
2.4. インストール

ハードディスクにコピーしたインストーラを実行し、ソフトウェアをインストールします。

1. 起動しているすべての Windows アプリケーションをすべて終了します。
   - Selector 画面が表示されている場合は右上にある×ボタンを押して終了します。



   - MD1231A/31A1 の場合はバーチャルキーボードを終了します。キーボードの画面右上の×ボタンを押してキーボードの画面を終了し、Windows システムトレイにあるアイコン を右クリック – Exit を選択します。

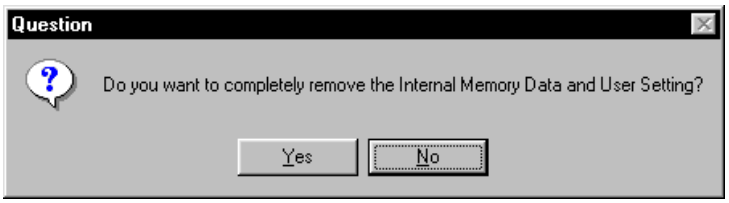


Ver.5.0 より前のバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、7項に進んでください（インストールされているソフトウェアの削除と新しいソフトウェアのインストール処理が自動的におこなわれます）。

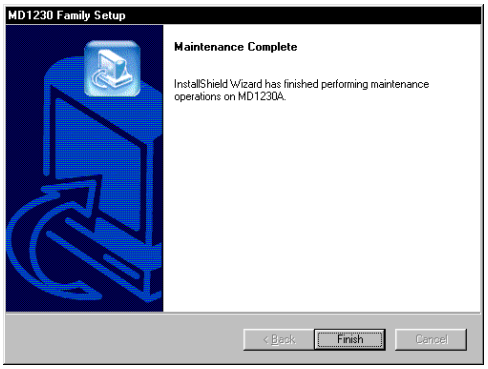
2. ハードディスク上にコピーしたインストーラのアイコンをダブルクリックします。アンインストーラが起動します。
3. アンインストール（インストールされているソフトウェアの削除）を実行してよいかのダイアログに対し OK ボタンを押します。



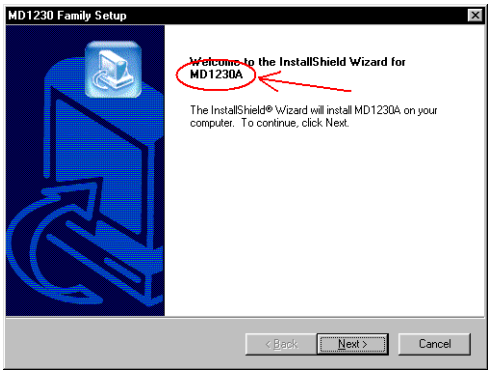
4. インターナルメモリ上に保存された，設定データや測定結果データを削除してよいかのダイアログに対し No を選択します。Yes を選択すると、設定データや測定結果データがクリアされます。



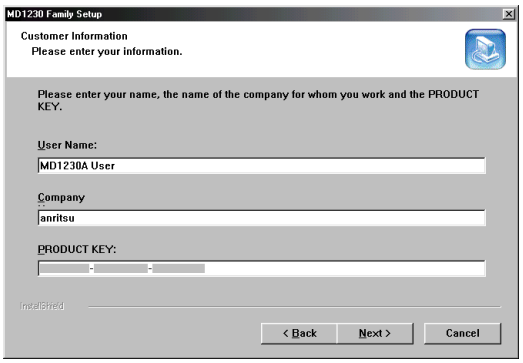
5. Read Only ファイルの削除についての問い合わせダイアログが表示された場合は，No ボタンを押します。
6. アンインストール処理が終了すると以下のような画面が表示されます。Finish ボタンを押して，アンインストールを完了します。



7. (もう一度)インストーラをダブルクリックします。インストーラが起動します。インストール先の本体と同じ型名が表示されることを確認した後、Next ボタンを押してインストールを開始します。



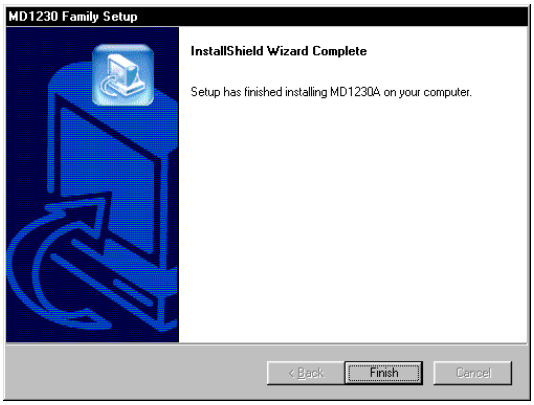
8. Company と PRODUCT KEY を入力し Next ボタンを押します。PRODUCT KEY は CD-ROM のラベルに記載された 24 桁の数字です。"-"(ハイフン)も必ず入力してください。



注意: PRODUCT KEY は、本体のシリアル番号に関連づけされています。このため、シートに記載されているシリアル番号とインストール先の本体のシリアル番号は一致している必要があります。また、以前の

バージョンのプロダクトキーを利用することはできません。

9. インストール処理が完了すると以下のような画面が表示されます。Finish ボタンを押してインストールを完了します。

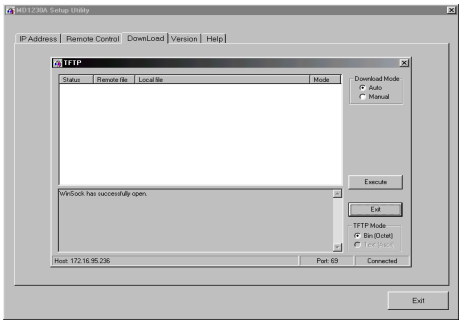


2.5. ファームウェアの更新

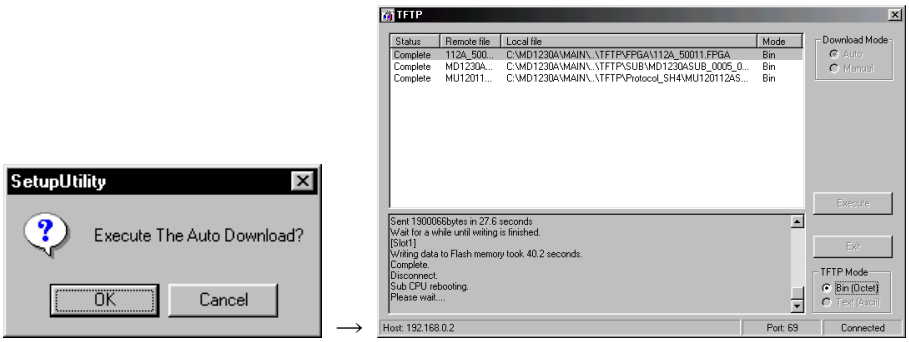
インストールされたファームウェアを、本体とインタフェースモジュールに反映します。ファームウェアの更新は次のような手順で行います。

注意：インタフェースモジュールの追加挿入を行う場合は、この手順を行ったあとに実施してください。この手順の前にインタフェースモジュールの追加を行うとファームウェアの更新処理が正常に行うことができない場合があります。

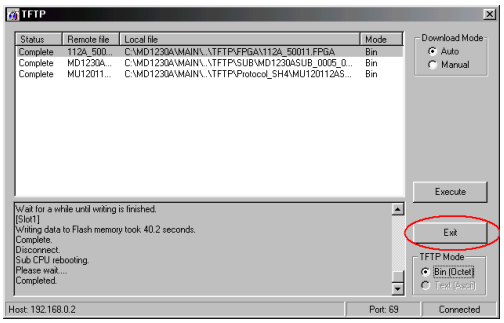
1. Setup Utility を起動し，Download タブの「Download...」ボタンをクリックします。ファームウェアの更新画面が表示されます。



2. Execute ボタンを押します。自動ダウンロードを実行してよいかの問合せに対し、OK ボタンを押します。更新するファイルのリストが表示され、ファームウェアの更新処理が行なわれます。



3. ファームウェアの更新処理にかかる時間は，1 つのファイルにつき 2 分～15 分程度かかります。処理が完了すると，以下の図のように Exit ボタンが有効になります。



> 注意：更新すべきファームウェアがない場合（すでに更新済みの場合）、更新処理は行われません（リストには何も表示されません）。

4. 後述の「**インストールの確認**」でインストールとファームウェアの更新が正常に行われていることを確認します。

2.6. アプリケーショントラフィックモニタオプションの設定

> 注意：この手順はアプリケーショントラフィックモニタ（オプション機能）を使用していない場合は行う必要はありません。

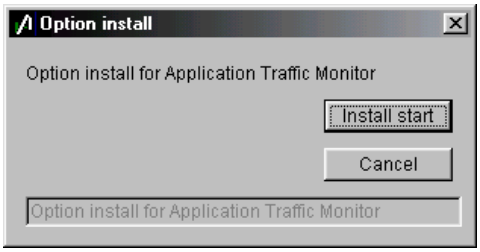
Ver.5.0 より前のバージョンでアプリケーショントラフィックモニタオプションを使用していた場合は、次の手順でオプション情報の再設定を行う必要があります。

> 注意：この手順を行わないと、バージョンアップ後にアプリケーショントラフィックモニタオプションを使用することが出来なくなります。

> 注意：この手順は前項の「ファームウェアの更新」を行った後で実行してく

ださい。「ファームウェアの更新」を行った後で実行しないとオプションの再設定が行われません。

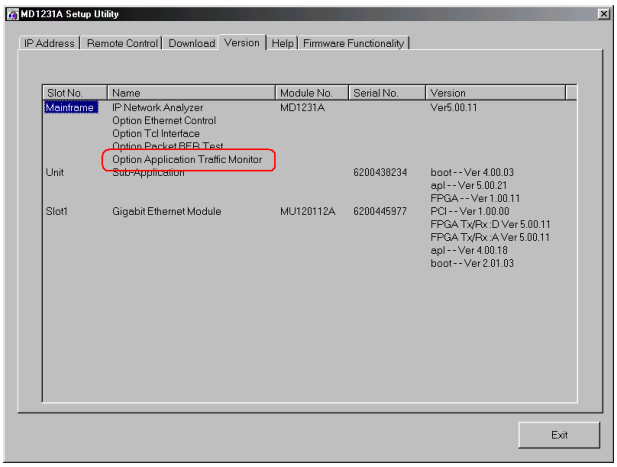
1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. ETC フォルダ-> for Application Traffic Monitor フォルダ中の Setup.exe を実行します。Option Install 画面が表示されます。



3. 「Install start」ボタンを押すとオプション情報の再設定処理が行われます。この処理の完了には数分かかります。処理が完了すると以下のようなダイアログが表示されますので、OK ボタンを押して処理を完了します。



4. オプション設定の処理が正常に行われたかどうかを確認します。Selector 画面で Setup Utility を選択し、Version タブをクリックします。ここで表示される内容に「Option Application Traffic Monitor」の表示があれば、正常に処理が完了しています。



3. MX123001A バージョンアップ手順

ここでは MX123001A（コントロールソフトウェア）をインストール・バージョンアップする手順について説明します。この手順を行った場合は、後述の「インストールの確認」でインストールとファームウェアの更新が正常に行われていることを確認してください。

3.1. 必要なもの

作業を行う前に次のものを用意します。

用意するもの	説明
MD1230/MP1590 Family Control Software CD-ROM	インストーラ、リリースノート、バージョンアップ手順書（本書）が収められています。
Product Key	CD-ROM 添付のシートに記載された 24 桁の数字です。ソフトウェアをインストールする際に入力が必要です。
PC	インストール対象の PC です。インストーラをコピーするために CD-ROM ドライブが搭載されている必要があります。

3.2. インストール

1. 「MD1230/MP1590 Family Control Software CD-ROM」にあるインストーラを PC のハードディスクにコピーします。使用するインストーラは接続先の本体の種類により異なります。

接続先の本体	インストーラファイル名
MD1230A, MD1231A, MD1231A1, MT7407A	MD1230A_31A_31A1-X.XX.XX.exe
MD1230B	MD1230B-X.XX.XX.exe

2. 起動しているすべての Windows アプリケーションを終了します。

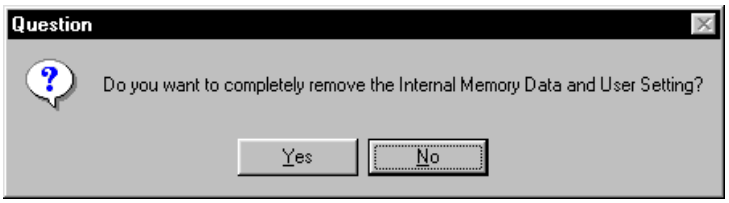
本ソフトウェアを新規にインストールする場合、または、Ver.5.0 より前のバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、8項に進んでください。

3. ハードディスク上にコピーしたインストーラのアイコンをダブルクリックします。アンインストーラが起動します。

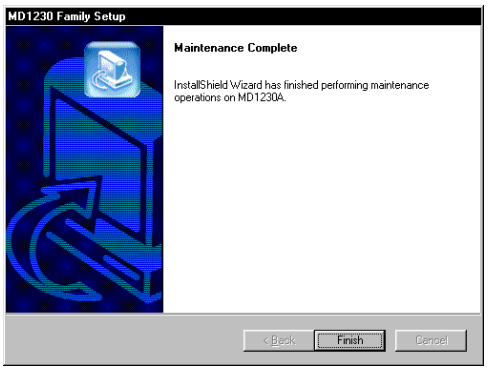
4. アンインストールを実行してよいかの問い合わせに対し OK ボタンを押します。



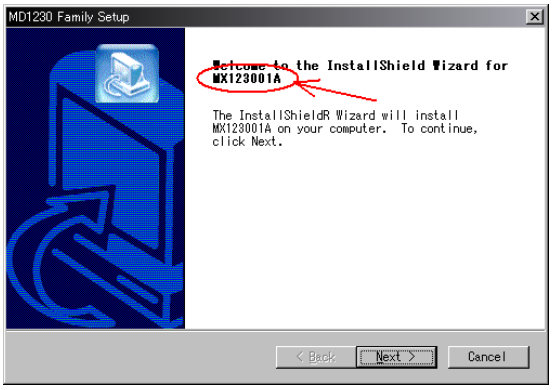
5. インターナルメモリ上に保存された，設定データや測定結果データを削除してよいかの問い合わせで No を選択します。Yes を選択すると、設定データや測定結果データがクリアされます。



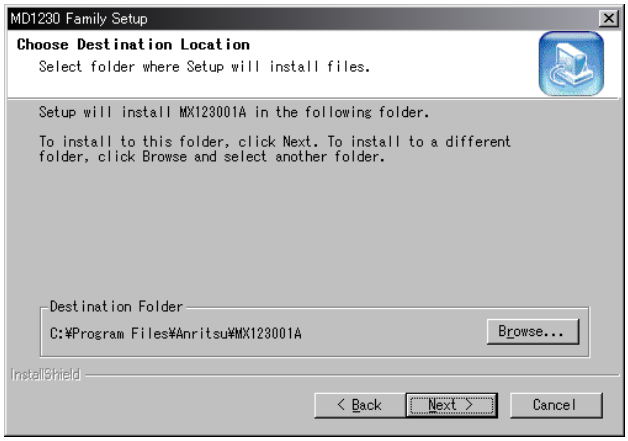
6. Read Only ファイルの削除についての問い合わせダイアログが表示された場合は，No ボタンを押します。
7. アンインストール処理が終了すると以下のような画面が表示されます。Finish ボタンを押して，アンインストールを完了します。



8. （もう一度）インストーラをダブルクリックすると以下のような画面が表示されます。「MX123001A」と表示されていることを確認した後、Next ボタンを押してインストールを開始します。



9. インストール先を指定するダイアログで Next ボタンを押します。



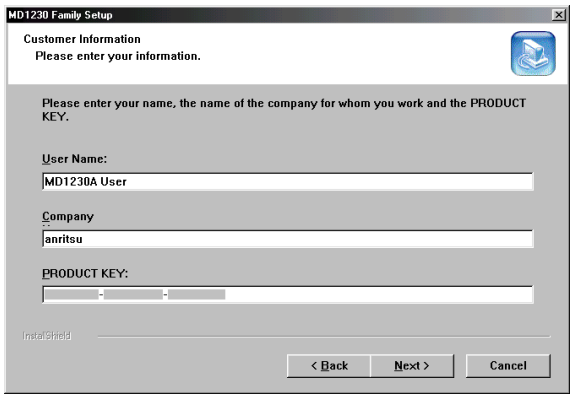
注意：デフォルトのインストール先は

C:¥Program Files¥Anritsu¥MX123001A

となっています。バージョンアップの場合は前回 MX123001A をインストールしたフォルダと同じフォルダを指定するようにしてください。

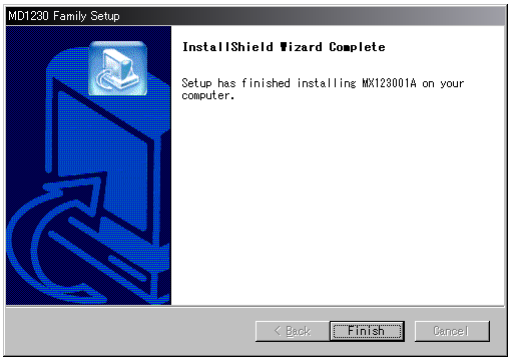
---

10. Company と PRODUCT KEY を入力し Next ボタンを押します。PRODUCT KEY は CD-ROM に添付されるシートに記載された 24 桁の数字です。”-“(ハイフン)も必ず入力してください。



注意：PRODUCT KEY は、購入時に提供されたものを使用します。本体にインストールする場合とは異なり、バージョン毎に PRODUCT KEY が変更されることはありません。

11. インストール処理が完了すると以下のような画面が表示されます。Finish ボタンを押してインストールを完了します。



12. 後述の「**インストールの確認**」でインストールとファームウェアの更新が正常に行われていることを確認します。

注意：バージョンアップ前のソフトウェアが Ver.3.1 より前のバージョンで、Internal Memory 上に保存した設定データや測定結果データを使用したい場合は、以下の手順を行います。

・ 前バージョンの MX123001A がインストールされていたディレクトリ内にある Internal Memory フォルダ(*)をコピーします。

・ コピーした Internal Memory フォルダを、新しくインストールした MX123001A の Main フォルダ中(*)にペーストします。

*: デフォルトでは C:¥Program Files¥Anritsu¥MX123001A

4. MT7407A バ - ジョンアップ手順

ここでは MT7407A の本体ソフトウェアをバージョンアップする手順について説明します。この手順を行った場合は、後述の「インストールの確認」でインストールとファームウェアの更新が正常に行われていることを確認してください。

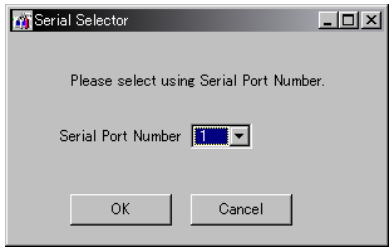
4.1. 必要なもの

作業を行う前に次のものを用意します。

用意するもの	説明
MD1230/MP1590 Family Control Software CD-ROM	インストーラ、リリースノート、バージョンアップ手順書（本書）が収められています。
Product Key	CD-ROM 添付のシートに記載された 24 桁の数字です。ソフトウェアをインストールする際に入力が必要です。
MT7407A と制御用 PC	インストール対象の本体と、この本体の制御を行う PC です。PC にはインストーラをコピーするために CD-ROM ドライブが搭載されている必要があります。
イーサネットケーブルと RS-232C クロスケーブル	MT7407A 本体と PC を接続します。本体の制御とファイル転送で使用します。

4.2. インストール

1. MT7407A を制御する外部 PC にソフトウェア（MX123001A）をインストールします。手順の詳細については前述の「MX123001A バージョンアップ手順」を参照して下さい。
2. PC と MT7407A 本体をイーサネットケーブルで接続します。
3. PC と MU740701A（MT7407A 上の制御モジュール）を RS-232C クロスケーブルで接続します。
4. MT7407A の電源を入れ、起動が完了するまで待ちます。起動完了は Ready LED によって確認できます。
5. 制御用 PC の Windows スタートメニュー - プログラム - MX123001A - Serial Selector を起動すると以下のような画面が表示されます。ここで RS-232C ケーブルを接続した COM ポートの番号を指定します。

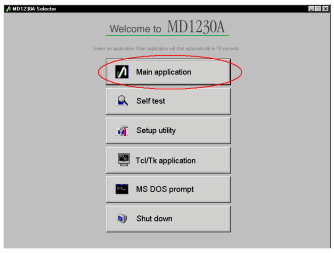


6. 制御用 PC の Windows スタートメニュー – プログラム – MX123001A – Setup Utility を起動し、ファームウェアの更新を行います。手順の詳細については前述の「**ファームウェアの更新**」を参照して下さい。
7. 後述の「**インストールの確認**」でインストールとファームウェアの更新が正常に行われていることを確認します。

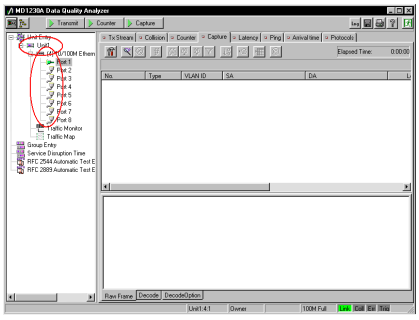
5. インストールの確認

ここでは、ソフトウェアのインストールとファームウェアの更新が正常に行われたかどうかの確認を行います。

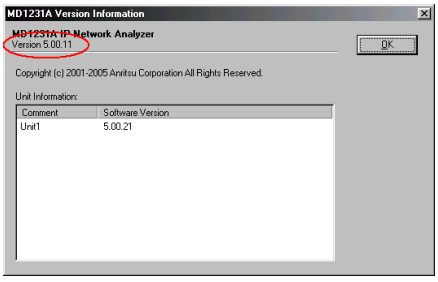
1. Selector 画面で Main Application を選択します。



2. Main Application が起動し、Unit への接続処理が行われます（Unit アイコンの下に挿入されているインタフェースモジュールのアイコンが表示されます）。接続処理が行われない場合は後述の「Unit への接続手順」を実施してください。また、接続時にダイアログが表示される場合は後述の「インストールに問題がある場合」を参照して下さい。



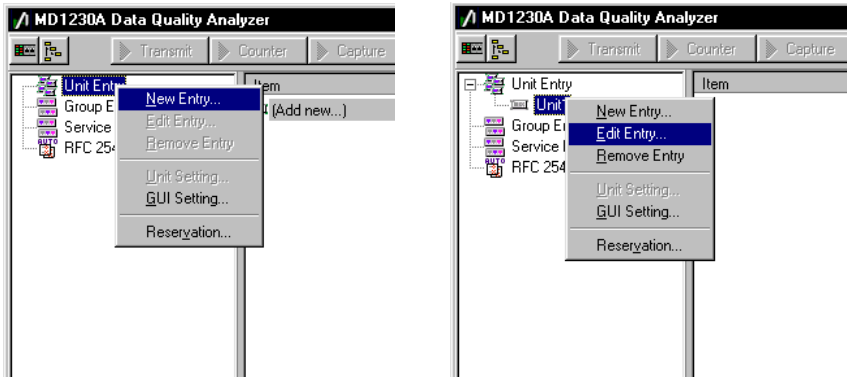
3. Main Application 画面右上の？ボタン － Version...をクリックします。バージョン情報画面の左上に表示される値が、ソフトウェアのバージョンと同じになっていればインストールが正常に行われています。



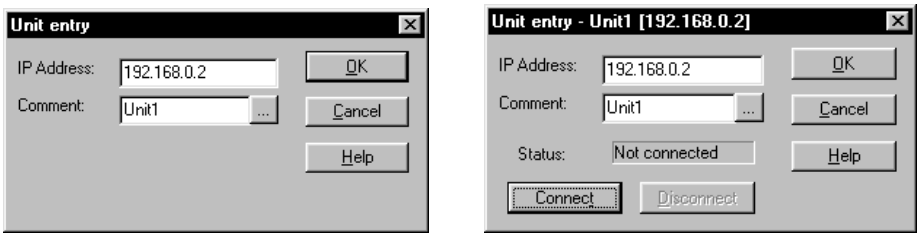
5.1. Unit への接続手順

ユニットへの接続は次のように行います。

1. Unit Entry の下に Unit アイコンが表示されていない場合は、Unit Entry を右クリックし、New Entry...を選択します。Unit アイコンが表示されている場合は、アイコンを右クリックし、Edit Entry...を選択します。

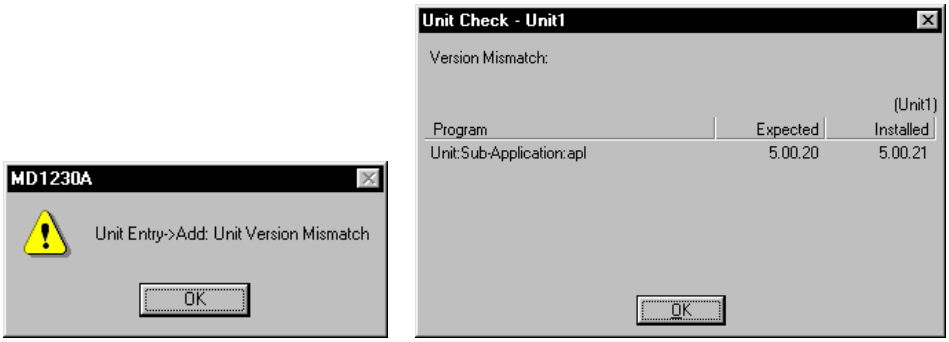


2. New Entry を選択した場合は、Unit の IP アドレスを入力し, OK ボタンを押します。Edit Entry...を選択した場合は Connect ボタンを押します。Unit の IP アドレスは、Setup Utility の IP Address タブで確認することができます。



5.2. インストールに問題がある場合

インストールに問題がある場合は、Unit への接続時に以下のようなダイアログが表示されます。また、このダイアログで OK を押すと、ツリーのアイコン表示に×マークが表示されます（正常な場合はというアイコンですが、異常の場合はという表示になります）。



これは、Unit への接続時に行われる Version Check 処理でバージョンの不一致が発生したことを示します。Version Check 処理では、インストールされている Windows アプリケーションと本体内部の各種ファームウェアとのバージョンが一致しているかどうかを確認します。

ダイアログ中の「Program」はバージョン情報が一致していないプログラムの名称、「Installed」は実際にインストールされているプログラムのバージョン、「Expected」は期待されるプログラムのバージョンを示します。

注意： このような現象となった場合は、「ファームウェアの更新」の項を参照して、更新処理の実施確認を行ってください。

6. バージョンダウン・アンインストールについて

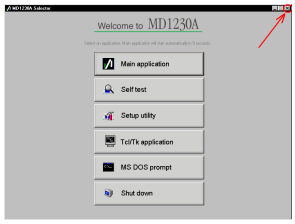
Ver.5.0 よりも前のバージョンに戻す場合は Ver.5.0～8.0 のソフトウェアをアンインストールしてから、バージョンダウンするソフトウェアをインストールする必要があります。ここでは、MD1230 ファミリソフトウェア（Ver.5.0～8.0）のアンインストールの手順について説明します。

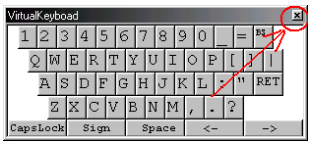
重要：Ver.5.0～8.0 をアンインストールした後の再インストールの手順については、ETC フォルダにある「MD1230 Family バージョンアップ手順書（Ver. 1.0～4.2 用）」（Readme_v4.2_jpn.pdf）を参照して下さい。

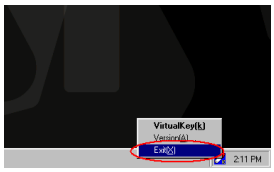
6.1. アンインストール

アンインストールは次の手順で行います。

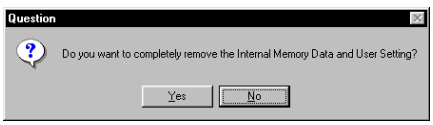
1. 起動している Windows アプリケーションをすべて終了します。
   - Selector 画面が表示されている場合は右上にある×ボタンを押して終了します。
   - MD1231A/31A1 の場合はバーチャルキーボードを終了します。キーボードの画面右上の×ボタンを押してキーボードの画面を終了し、Windows システムトレイにあるアイコン  を右クリック – Exit を選択します。





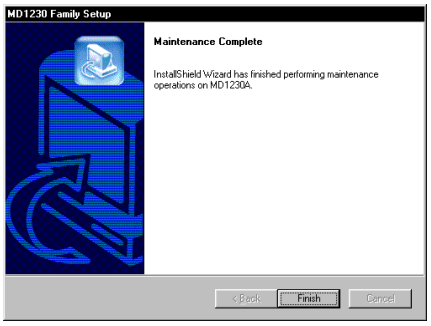


2. 前項でハードディスク上にコピーしたインストーラを実行します。アンインストーラが起動します。
3. アンインストールを実行してよいかの問い合わせに対し OK ボタンを押します。
4. インターナルメモリ上に保存された，MD1230A の設定データや測定結果データを削除してよいかの問い合わせで No を選択します。Yes を選択すると、設定データや測定結果データがクリアされます。



5. Read Only ファイルの削除についての問い合わせダイアログが表示された場合は，No ボタンを押します。

6. アンインストール処理が終了すると以下のような画面が表示されます。Finish ボタンを押して，アンインストールを完了します。



7. Sniffer Technologies オプションについての注意事項

Ver.5.0 よりも前のバージョンの Sniffer Technologies オプション（デコードモジュール MD1230A/30B/31A/31A1-04、MU740701A-04、MX123001A-01）を Ver.5.0～8.0 のソフトウェアに追加インストールするお客様は以下の注意事項を必ずお読みください。

注意：デコードモジュール・エキスパート解析モジュールがすでにインストールされているときに本体ソフトウェア（Ver.5.0～8.0）をインストールした場合は、この注意事項を読む必要はありません。 ※ Ver.5.0 よりも前の本体ソフトウェアでは、本体ソフトウェアをインストールするとデコードモジュールとエキスパート解析モジュールの再インストールが必要でしたが、Ver.5.0～8.0 では再インストール不要となりました。

注意：デコードモジュール・エキスパート解析モジュールのインストール方法については各モジュールのインストーラに付属の手順書を参照して下さい。

デコードモジュールの追加インストールを行った後には、ソフトウェア CD-ROM 内の ETC¥DecodeModule フォルダ中にある Sniffit2.dll を、MD1230 ファミリソフトウェアのインストール先(*)の Main フォルダに「上書き」してください。この手順を行わないと、キャプチャ結果を表示する際にエラーメッセージが表示され、キャプチャ機能を使用することができません。

＊： MX123001A の場合（デフォルトでは）C:¥ProgramFiles¥Anritsu¥MX123001A 、MD1230A/30B/31A/31A1 の場合は C:¥md1230a¥Main

8. Q&A

Q. ファームウェアの更新(download)がいつまでも完了しない。Main Application に Unit を登録できない。

A. IP アドレス(Windows/Unit)の設定が間違っている可能性があります。Setup Utility を起動して, IP Address タブをクリックします。設定値が以下のようになっていない場合は, 変更します。

Windows

IP Address: 192.168.0.1

Netmask: 255.255.255.0

Gateway: 0.0.0.0

Unit

IP Address: 192.168.0.2

Netmask: 255.255.255.0

Gateway: 0.0.0.0

Q. 以前にインストールされていたバージョンでセーブした設定・結果データを読み込みたい。

A. Setup File Converter を使用することにより、実現可能となります。Setup File Converter の使用方法については取扱説明書を参照して下さい。

Q. Unit 接続で Unit などのアイコンが”×”になる。

A. 「インストールに問題がある場合」の項を参照して下さい。

Q. アンインストールが出来ない。

A. Windows のレジストリに{B900EDE1-7F98-11D5-9604-00004CA31724}というようなフォルダが残ってしまっている場合にこのような現象となることが確認されています。スタートメニューの「ファイル名を指定して実行...」からレジストリエディタ(regedit)を起動し、以下のキーが存在する場合は削除してください。

¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Uninstall¥{B900EDE1-7F98-11D5-9604-00004CA31724}